

支援プログラム

<事業所名> シャイン

<作成年月日> 令和8年1月20日

<事業所理念> 事業所は、障がい児の意思及び人格を尊重し、常に障がい児の立場に立って指定放課後等デイサービスを提供するよう努める。

<支援方針> 事業所は、障がい児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるように、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。

<営業時間> 学校のある日 下校時 ～18:00
学校のない日 10:00～17:00

<送迎> 有

<本人支援の内容と5領域の関連性>

【健康・生活】

- ・健康状態の維持、改善
体温チェック、健康観察
- ・生活リズムや生活習慣の形成
学校、シャイン共に、やむを得ない健康状態以外の日は、休まずに通えるようにしていく。(生活リズムの確立)
- ・基本的生活習慣の獲得
身の回りの清潔、食事、衣類の着脱、排泄等の基本的技能を獲得していく。
(手洗い、うがい、トイレを正しく使用する、掃除等)

【運動・感覚】

- ・姿勢と運動、動作の向上
楽しみながら体を動かすよう運動遊びを促し、機能が向上できるようにしていく。
(戸外遊び、スポーツ、体操、ダンス等)
- ・感覚の特性への対応
感覚過敏な子に配慮した環境設定をしていく。
(感覚統合遊び、バランスボール、ボールプール等)

【認知・行動】

- ・認知の発達と行動の習得
視覚、聴覚、触覚の発達を促し、適切な行動へ結び付けていく。
(ブロック、支援グッズ、音楽、リズム遊び、体操、バランスボール等)

- ・空間、時間、数等の概念形成の習得
スケジュール表、時計、タイマー等を見ながら過ごし、基本的な行動ができるようにしていく。
- ・対象や外部環境の適切な行動の習得
S S T課題を通して物事の善悪、一般常識を習得してもらい、適切な行動へ結び付けられるように支援をしていく。
- ・感情のコントロールの習得
S S T課題、アンガーマネジメント等

【言語・コミュニケーション】

- ・言語の形成と活用
物事や体験と言葉の意味を結び付ける等、言葉の習得、自発的な発声を促していく。
- ・言語の受容及び気持ちの表出
話し言葉や文字を用いて、相手の気持ちを理解したり、自分の考えを伝えたりする等、言語を受容し、表出する支援をしていく。
- ・コミュニケーションの基礎的能力向上
人との関わりを通して、相互に影響し合い学び合う事によって、コミュニケーション能力の向上のための支援をしていく。

(主な支援例)

S S T、伝言ゲーム、早口言葉、しりとり、クイズ、個別課題、本の読み聞かせ聞き取り訓練、意見の発表等

【人間関係・社会性】

- ・他者との関わりの形成
人との信頼関係を、遊びや活動を通して築きながら、他者との適切な距離感を伝え、安心して過ごせるよう支援をしていく。
- ・自己の理解と行動の調整
大人を介して自分の長所、短所等、自分の行動の特徴を理解すると共に、気持ちや情動の調節ができるように支援をしていく。
- ・仲間づくりと集団への参加
集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援をしていく。
(ごっこ遊び、集団遊び、他己紹介、作業訓練、自立課題等)

<家族支援>

- ・ご利用後にご家族にその日の様子をフィードバックする。
- ・ご家族の心配事や困り事に寄り添い、面談や助言を行う。
- ・ご兄弟に関する話も伺い、ご家族へのサポートを行う。
- ・訪問看護等を利用されている場合は、職員の方とも情報を共有するよう努める。

<移行支援>

- ・利用児の通う学校等の先生の施設訪問を受け、情報交換、共有、連携を行う。

<地域支援・地域連携>

地域の公園等に行き、地域の方や同年代の子どもと交流していく。

<職員の質の向上>

- ・事業所内の研修の実施
- ・外部研修の参加、情報提供
- ・ミーティング時間を確保し、情報共有を図る

<主な行事>

- 1月 正月遊び、初詣
 - 2月 豆まき
 - 3月 ひなまつり
 - 4月 お花見
 - 5月 こいのぼり
 - 6月 あじさい園、ゆり園
 - 7月 プール、和太鼓、体験型お出かけ、ワークショップ等
 - 8月 ↓
 - 9月 公園へお出かけ（秋みつけ）
 - 10月 ハロウィン
 - 11月 芋掘り
 - 12月 クリスマス会
- 毎月 誕生日会